



学校だより (12月号)

自ら学び、心豊かでたくましい実践力をもった子どもの育成

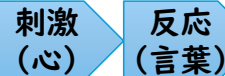
太宰府市立水城西小学校 Tel923-2559 文責:教頭 比嘉一人

10月～11月にかけて、全学年の子どもたちに対して、「言葉についての学習」を実施しました。さて、心の変化と言葉の変化はどちらが先に起こるのでしょうか。心が穏やかになる(荒れる)と言葉も穏やかになる(荒れる)のか、穏やかな(荒れた)言葉遣いをすると心が穏やかになる(荒れる)のか。みなさんはどう思われますか? 今月の学校だよりでは、両方の面から考えてみます。

『心』が変わると『言葉』が変わる

私たちは、生活する中で外部からの様々な刺激を受けます。その刺激で心が動かされ、反応して言葉を発することになります。つまり、心の状態の変化が、言葉を生み出しています。書籍「7つの習慣(スティーブン・R・コヴィー)」によると、人間の反応には「刺激即反応」と「主体的反応」があるそうです。例えば、行列に並んでいて横入りをされたとします。その時に、かっとなって「横入りするな!」と言ったとしたら、それは「刺激即反応」です。一方、「大きな声を出すと周りの人にも迷惑かもしれない」と考え、「後ろに並んでいる人がいますよ」と冷静に言ったとしたら、主体的反応になります。この時、刺激にまかせた感情的な発言を抑制する「意志」の力が働いています。実は、人間は「刺激」と「反応」の間に「意志」の力を働かせることができる唯一の生き物なのです。子どもたちは、そしてご家庭では、「意志」の力を働かせて生活できているのでしょうか。なお、主体的に生きていない人には、「〇〇のせいで・・・」や「□□があれば・・・」といった口癖があります。つまり、環境や能力によって自分の人生が決まってしまうという考え方です。これでは、いつまでたっても自分の力で人生を切り拓くことができません。どんな刺激があっても、「意志」の力で感情をコントロールし、よりよい言葉を選択したいものです。

刺激即反応



主体的反応



『言葉』が変わると『心』が変わる

先日、階段を通っていると、学級で集めたノートをもとめて、職員室に届けている6年生に出会いました。感心して見ていると、ノートに挟んであるプリントが床に何枚か滑り落ち、それを拾おうとしてノートがバサバサ落ちる状態に……。思わず手を貸し、プリントやノートを拾って渡すと、「ありがとうございます」と素敵な挨拶をもらいました。その後、私は職員室に戻り、自席に座っていると、先程の6年生が職員室に入ってきました。担当の先生にノートを届けた後、わざわざ私のところまで足を運び、「先ほどはノートを拾っていただき、ありがとうございました」と再び丁寧に挨拶をしてくれました。思わず笑顔になる、とても心が温まる出来事でした。まさしく、6年生のお礼の「言葉」により、私の「心」が温まったのです。きっと、お礼を言ってくれた6年生の「心」も明るくなっていることと思います。このことから言えるのは、「言葉」は、言葉を発した本人はもちろん、周りの人の「心」にも大きな影響を及ぼすということです。私たち教師や親、地域の言語環境を整えることが、子どもたちの心を育てる上で大切と言えそうですね。



ここまで読んでいただきありがとうございます。上述した内容に対して、URL や二次元コードからご意見をいただけると嬉しいです。①読んだ感想、②素敵な言葉を聞いたエピソード、③言葉遣いで気を付けていることなど、一言でもよいので是非教えてください。

<回答 URL> <https://forms.office.com/r/FkixppmM2D>



12月の主な行事予定	1月の主な行事予定
1日（月）スクールカウンセラー来校 人権週間～10日 2日（火）登校班班長会 3日（水）学校運営協議会 4日（木）たんぽぽ学級校外学習 （久留米青少年科学館） 5日（金）委員会活動 8日（月）読み聞かせ（1, 2, 6年） 9日（火）標準学力調査（算数） 特別時制（全校14:45下校） 10日（水）標準学力調査（国語） 12日（金）もちつき準備（全校13:45下校） 13日（土）もちつき集会 15日（月）振替休日 18日（木）しめ縄づくり（5年） スクールカウンセラー来校 24日（水）全校朝会（後期前半終了） ※給食あり（全校13:00下校） 25日（木）～1月7日（水）冬季休業	8日（木）全校朝会（後期後半開始） ※給食なし 9日（金）登校班班長会 委員会活動 12日（月）成人の日 13日（火）クラブ活動 15日（木）議題説明会 16日（金）避難訓練 20日（火）代表委員会 22日（木）参観（人権）懇談 23日（金）24（にし）の日 中学校入学説明会（6年） 28日（水）放課後子ども教室 29日（木）スクールカウンセラー来校

標準学力調査を行います

12月9日（火）と10日（水）に、標準学力調査を行います。この学力調査は、当該学年で学習した内容がしっかりと身についているかを確認するものです。9日（火）には算数、10日（水）には国語の学力調査を行います。現在、この調査を目的意識として位置付け、学校では学力育成の取組を進めています。学習に向かう姿勢は、周りの大人の声かけに大きく左右されます。学校でも子どもが「できた」という達成感を味わえるように支援するとともに、少しの成長を見逃さずに賞賛の声かけをしています。ご家庭でも、人と比べるのではなく、昨日のお子様よりも今日成長しているところや頑張りを見つけて、たくさん声かけをしていただけるとありがたいです。学校と家庭で、協力して子どもたちを育てていきましょう！



米作りの集大成、いよいよ「もちつき集会」です

水城西小学校では、年間を通して米作りの活動を行っています。もみまきから田植え、稲刈り、もちつきまで、米作りの一連の行程を全校で体験することで、生産の苦労や収穫の喜びを味わうことができる長年の伝統的な取組となっています。コロナウイルス感染症の流行によって、一時は中止を余儀なくされましたが、ここ数年でやっとこの行事を再開することができています。米作りの取組のなかでも、今回実施するもちつき集会は集大成の意味をもちます。本校の伝統的な学校行事として位置付けていることはもちろん、保護者の方々や地域の皆様、卒業生なども集まり、みんなで協力して子どもも大人も思い出に残るもちつき集会にしたいと思います。詳しくは、先日送信した tetoru や、紙媒体で配付したプリントをご確認いただき、是非、もちつき集会へのご協力をお願いします。

